

流域治水 の取り組みを進めています。

三滝川流域・海蔵川流域では、気候変動による水害リスクの増大を踏まえ、河川整備計画に基づく河川改修を進めるとともに、流域に関わるあらゆる関係者が協力して、流域全体で水害を軽減させるための治水対策である「四日市圏域二級水系流域治水プロジェクト」が進められています。

このプロジェクトでは、①氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策、②被害対象を減少させるための対策、③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策に取り組んでいます。

① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

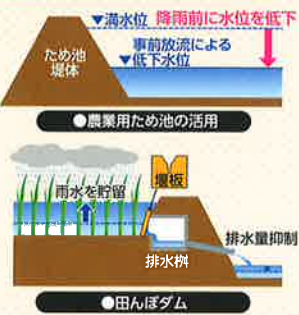
河川改修・堆積土砂の撤去・ダム建設などの治水対策、田んぼダムや農業用ため池を活用した雨水貯留対策、森林整備による保水力の向上などを推進しています。

県内の取り組み事例

農業用ため池の活用

大雨が予測される際にあらかじめ水位を下げることで大雨を一時的に溜めて、一度に川へ流れ込む水の量を抑えます。

田んぼダムの普及・啓発
田んぼの排水口に堰板などを設置し、雨水が川や排水路へ、すぐに流れ込むことを抑制します。



② 被害対象を減少させるための対策

浸水想定区域など水災害リスクを把握し、よりリスクの低い地域への居住を促すなど、まちづくりや住まいの工夫を行っています。

県内の取り組み事例

立地適正化計画に基づく防災指針の作成

市町が立地適正化計画に基づく「防災指針」を策定し、水災害リスク等を踏まえた住居や都市機能の安全な場所への計画的な誘導を進めています。

③ 被害の軽減・早期復旧・復興のための対策

ハザードマップの作成・公表や、インターネット・SNSによる河川水位情報・降雨情報の発信などを推進しています。

県内の取り組み事例

防災情報の提供 (ハザードマップ、簡易型河川監視カメラ、危機管理型水位計等)

頻発する豪雨災害への備えとして、「危機管理型水位計」、「簡易型河川監視カメラ」を設置し、水災害の早期把握に資する情報提供を行います。

川の防災情報 検索



●危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラによるリアルタイムな情報の提供



●立地適正化計画に基づく防災指針の作成

防災情報を活用しましょう

水災害リスクを知る

下記のウェブサイトなどを活用して、危険性を知ることから始めましょう。

●四日市市/各種防災ハザードマップ

四日市市のホームページで、津波・洪水・高潮・内水(雨水出水)・土砂災害・ため池・地震の各種ハザードマップが公開されています。



四日市市/津波避難マップ
四日市市/各種防災ハザードマップ 検索

●菟野町/各種防災マップ

菟野町のホームページで、洪水・土砂災害の防災マップや、ため池ハザードマップが公開されています。



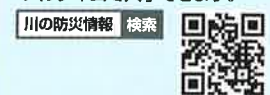
菟野町(菟野町東部)/防災マップ
菟野町防災マップ等 検索

水災害から身を守る行動をする

最新情報入手し、適切なタイミングで安全に避難しましょう。

●川の防災情報

豪雨などの際に、川の水位情報や河川ライブカメラの画像をリアルタイムで入手できます。



川の防災情報 検索

●キキクル(危険度分布)

大雨による土砂災害・浸水害・洪水災害の危険度の高まりを、地図上で確認できるシステムです。災害の危険度を5段階で色分けしてリアルタイムに表示します。

●防災みえ.jp

気象・台風・地震に関する情報、防災情報などを配信している総合防災サイトです。

防災みえ.jpメール配信サービス

三重県では、「防災情報」として、注意報、警報、台風、地震、河川水位など、ご希望の情報をメールで配信します。

ご登録は a@bosaimie.jp
に空メールを送信し、登録してください。



キキクル 検索

防災アプリで災害に備える

三重県公式防災アプリ「みえ防災ナビ」で災害に備えよう!

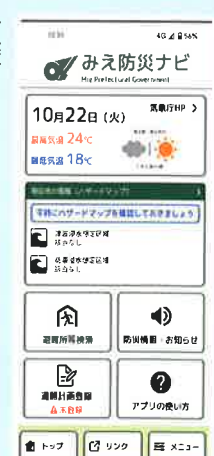
●みえ防災ナビ

県では、今後予想される、南海トラフ地震などの災害発生に備え、県民の皆さんや県内に旅行に来られる方の避難を支援するための各種防災情報を提供する三重県公式防災アプリ「みえ防災ナビ」を運用しています。

●三重県公式防災アプリ

地震・気象情報 避難場所等 ハザードマップ

みえ防災ナビ 検索



三滝川流域・海蔵川流域の河川整備計画に関するアンケート調査(第2回)に御協力をお願い致します

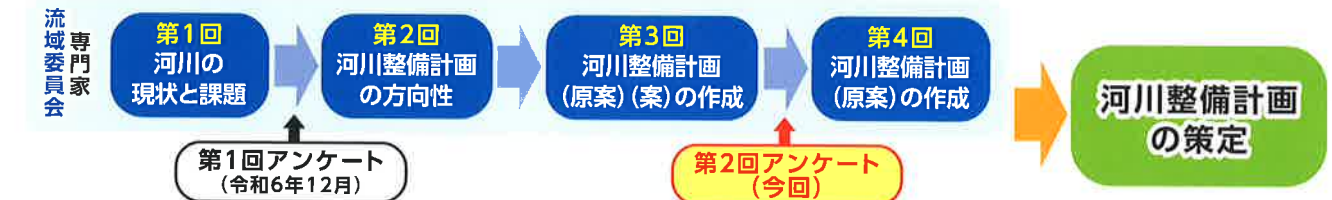
三滝川流域、海蔵川流域及びその周辺にお住いの皆様へ

三重県 四日市建設事務所

日頃から、三重県の河川行政にご理解とご協力をいただきありがとうございます。三滝川流域・海蔵川流域では、平成18年に河川整備計画を策定し、計画に基づく整備を進めてきましたが、計画策定から約20年経過したことから、今回、計画を見直すこととなりました。

このアンケート調査は、三滝川流域・海蔵川流域の川づくりをよりよい計画とするため、流域にお住まいの皆様のお考えや、ご意見をいただくことを目的としています。

●河川整備計画の進め方



●アンケートの手順

お手持ちのスマートフォンからカメラを起動し回答をお願いします

カメラアプリで読み取ってください

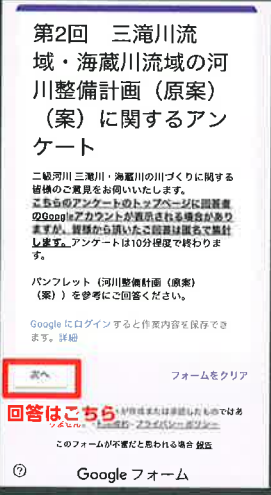


2次元コード

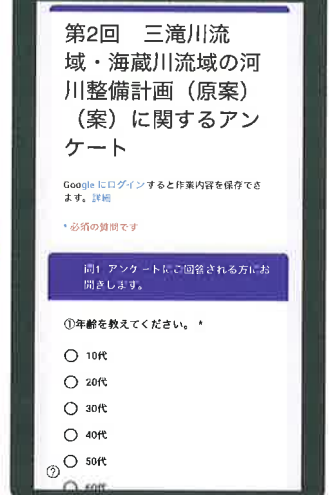


カメラアプリ

スマートフォン



スマートフォン



■ご回答にあたってのお願い■

■アンケート調査は、インターネットにより実施させていただきます。右記の2次元コードまたは、下記URLからアクセスの上、ご回答ください。

URL: <https://forms.gle/m934a6Tzx44qkfHC7>

回答期限: 令和7年10月31日(金) 23時59分まで (お1人様1回限り)



●アンケート調査にあたってのお問い合わせ先

■三重県 四日市建設事務所

事業推進室 流域・公園課 担当: 堀出、谷中 TEL:059-352-0677/FAX:059-352-0666

三滝川流域・海蔵川流域の計画の考え方

三滝川流域・海蔵川流域の河川整備計画(原案)(案)の概要

治水対策(洪水・高潮・地震)

三滝川・海蔵川

- 三滝川の治水対策は、気候変動による降雨量の増大を考慮した上で、年超過確率1/50相当(金溪川合流点～菰野大橋区間は1/10相当)の降雨に対応する規模の洪水を安全に流下させることを目標とします。
- 海蔵川の治水対策は、気候変動による降雨量の増大を考慮した上で、年超過確率1/50相当の降雨に対応する規模の洪水を安全に流下させることを目標とします。
- 河川改修については河床掘削、護岸整備及び橋梁等の工作物の改築・補強により流下能力の拡大を図ります。
- 計画を上回る洪水や整備途上段階における洪水による被害を最小限に抑えるよう、ソフト対策を進める等、総合的な被害軽減対策を関係機関や地域住民と連携して推進します。

三滝新川

- 分派完成に向けて、引続き、低水路掘削・護岸整備等を進めます。

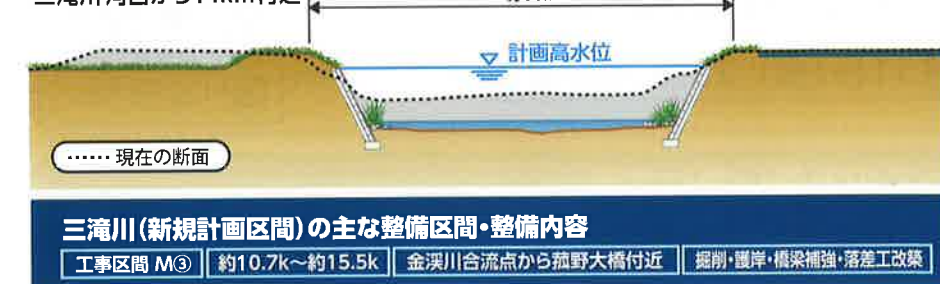
三滝川 年超過確率1/50の降雨に対する規模の洪水を安全に流下させることを目標とします。

三滝川河口から10km付近



三滝川 新規計画区間 年超過確率1/10の降雨に対する規模の洪水を安全に流下させることを目標とします。

三滝川河口から14km付近



海蔵川 年超過確率1/50の降雨に対する規模の洪水を安全に流下させることを目標とします。

海蔵川河口から6km付近



三滝川流域・海蔵川流域では今後30年における川づくりの具体的な内容を定める河川整備計画を見直します。

平成18年に河川整備計画が作成された後、約20年整備を進めてきたことから、計画の見直しを行います。
治水対策は、気候変動による降雨量の増大を踏まえた治水計画へ見直します。また、三滝川の新金溪川合流点から上流区間を新規計画区間とします。



利水・環境

- 動植物の生息・生育・繁殖環境の保全および利水の安定的な取水に必要な流量の確保を目指し、水量の監視を行います。
- 流域内河川の自然環境及び河川利用の実態把握に努め、治水・利水面との調和を図りつつ、自然環境の保全と創出に努めます。

維持管理

- 河川内に堆積した土砂等により河積が阻害され、出水時に危険が予想される場合には、堆積土砂の撤去を検討します。土砂の撤去の際には、平坦な河床としないなど、極力現況の自然環境へ配慮します。
- 河道内の樹木については環境面を配慮し極力保全していきます。なお、流水の阻害や河川構造物に悪影響を与える樹木等については、必要に応じ伐採します。

※年超過確率 1/〇:毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が 1/〇であることをいう。